

「JR関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通計画（中間案）」に係るパブリックコメントの要旨

- 意見募集期間：令和3年12月21日（火）～令和4年1月10日（月）
- 意見提出者数：11名、16件
- パブリックコメントの要旨及びこれに対する考え方：下記のとおり

項目	意見の要旨	考え方 (対応状況)
関西本線	① 感染症対策として、積雪による乗客増加時の増便や車両増結を実施すべき。	新型コロナウイルス感染症対策の実施について、P48 施策②-6,7「公共交通における新型コロナウイルス感染症対策のPR、高齢者の外出促進」に記載しております。 引き続き、利用状況に応じた運行確保も含めた感染症対策を徹底していくことで、利用者の安心・安全確保に努めてまいります。
関西本線	② 列車の運休や遅延情報の伝達を強化してほしい。	情報発信の強化について、P50 施策④-1「相楽東部地域の交通総合案内窓口(コンシェルジュ)の設置」に記載しております。 大河原駅に地域のおでかけをサポートする相楽東部地域の交通総合案内窓口(コンシェルジュ)を設置し、JR関西本線をはじめ、3町村に混在する公共交通をワンストップで情報発信できる拠点を整え、情報発信の強化に取り組んでまいります。
関西本線	③-1 鉄道利用について内容を整理すべき。	JR関西本線は地域の基幹交通と位置づけており、駅の利用環境改善、観光利用の促進について、P32 基本方針①「コロナ禍等による減便からの回復を目指し、JR関西本線沿線全体の公共交通サービスを改善することで利用者を増やす」、P33 基本方針④「情報発信の強化やMaaSの導入等によって、公共交通の分かりやすさ、使いやすさを向上させ、特に観光での移動を便利で快適にする」に記載しております。 これらの方針に基づく各種施策の実施により、鉄道利用者の増加に努めてまいります。
関西本線	③-2 京都、奈良、名古屋、伊勢と連携したJR関西本線の観光プロモーションに取り組むべき (京都～伊勢ルート、奈良～名古屋ルートを活用した臨時列車、団体ツアーの実施、JR関西本線を使った旅行の企画、PRなど)	
関西本線	③-3 JR関西本線に大阪、名古屋両方面からの観光列車(瑞風やサイクルトレイン)誘致を進めるべき。	
地域内交通	④ 犬打トンネル開通後の新バス路線、奈良交通和東木津線の再編と合わせてデマンド交通を導入すべき。	和東町の交通再編について、P44 施策②-2「地域間幹線バス路線の再編(奈良交通・和東木津線)」に記載しております。 和東木津線の路線見直しに合わせ、自宅から目的地まで送迎可能なデマンド交通について、地域の理解を深めながら導入を進めてまいります。
地域内交通	⑤-1 町内の移動利便性を高めるため、自宅から目的地までの送迎が可能なデマンド交通を検討してほしい(笠置町)	デマンド交通の導入について、P46 施策②-3「地域内バス路線の再編(笠置町循環バス)」に記載しております。 交通空白地に住む高齢者等の気軽かつ安全な外出を支援するため、自宅から目的地まで送迎可能なデマンド交通について、地域の理解を深めながら導入を進めてまいります。
地域内交通	⑤-2 加齢により交通利便性の悪さを実感し始めている。自宅から目的地までの送迎してもらえる交通サービスの導入を検討してほしい(笠置町)	また、和東町においては、茶畑の景観地を周遊する電動小型車両(グリーンスローモビリティ)が運行しており、レンタサイクルも提供されていることから、これらのサービスについて来訪者への情報発信を強化してまいります。
地域内交通	⑤-3 公共交通へのニーズは総じてドアツードアにまとめられるため、バスを補完するサービスとして導入されれば、公共交通利用が進むと考える。(和東町)	(P50 施策④-1「相楽東部地域の交通総合案内窓口(コンシェルジュ)の設置」に記載)
地域内交通	⑤-4 交通弱者向けの福祉施策と観光振興施策に着目し、デマンド交通の充実による地域内や鉄道駅につなげる移動手段の確保、カーシェアやレンタサイクルの充実による訪れる人にやさしい交通手段の確保を(和東町)	
地域内交通	⑥ 高齢者だけでなく、中学・高校・大学生にとって利用しやすい公共交通サービスを検討してほしい(南山城村)	学生を対象とした公共交通サービスについて、P48 施策②-6「高齢者や高校生を対象とした利用促進」に記載しております。 通学定期券購入補助制度の拡充等。通学需要に対応した交通サービスの導入を検討し、通学の利便性向上に努めてまいります。
地域内交通	⑦ スクールバスを空き時間に路線バスとして活用すべき	スクールバスの活用について、P53 施策⑤-2「スクールバスや福祉有償運送など、多様な主体との連携による移動手段の確保」に記載しております。 スクールバス等と連携を図り、地域の輸送資源を総動員することで、効率的なバス運行や交通空白地有償運送の導入拡大、担い手確保に努めてまいります。
地域内交通	⑧ スクールバスを有効活用して公共交通を充実させてほしい(南山城村)	

項目	意見の要旨	考え方 (対応状況)
地域内交通	⑧ 相楽東部広域バスはバス停を減らし、目的地までの所要時間を短縮してほしい	相楽東部広域バスの運行について、P47 施策②-4「相楽東部広域バスの運行展開」に記載しております。 この間の利用実績や他の地域内交通サービスとの連携を踏まえた上で、利用者が著しく減少または利用実績のないバス停の見直しを検討し、運行時間の短縮等のサービス水準向上を検討してまいります。
地域内交通	⑨ 交通系ICカードの導入を鉄道以外の交通サービスにも拡大してほしい	MaaSの導入拡大などの利便性向上策について、P51 施策④-2,3「来訪者にも分かりやすい経路検索サイトでの情報提供、MaaSの導入(観光型)」に記載しております。 MaaSの導入と合わせ、利用促進施策の一環として費用対効果を踏まえながら、導入を検討してまいります。
その他	⑩ 公共交通の利便ばかりを追求するのではなく、弱点を強みに代える計画に。「不便益」から得られる「住んでよかった地域」、時間をかけてでも「訪れたい地域」、社会を形成すべき。	まちづくりとの連携について、P30 7. 地域の上位計画の方向性」に記載しており、3町村のまちづくりに関する計画や施策と連携、整合を図りつつ、地域を支える公共交通サービスの構築に努めてまいります。